

センターからのお知らせ

◆平成 28 年度青少年向け啓発事業の募集について

横浜 AIDS 市民活動センターが行う平成 28 年度青少年向け啓発事業の応募受付は、平成 28 年 4 月中旬～5 月中旬を予定しています。(応募要項は 3 月下旬センターHP 掲載予定)

【青少年向け啓発事業とは】
横浜市内の学校及び団体の青少年(小学生高学年・中学生・高校生)を対象に、エイズについての正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るために、センターが委託した NPO/NGO 等から講師を派遣し、エイズに関する講演会やワークショップを無料で実施します。
お問い合わせ：横浜 AIDS 市民活動センター TEL 045-650-5421

◆横浜市が性的マイリティ向けの交流スペース開設！

横浜市性的少数者支援事業のご案内です。



同性を好きになったり、自分の心の性と、からだの性が一致しなかったり、「誰にも話せずに、悩んでいませんか？」

交流スペース FriendSHIP よこはま
無料・予約は不要です
自由に集い、話をしたり情報を得ることができるフリースペース。専門のスタッフが常駐しています。

日時：2016年2/20(土)、3/5(土)、3/19(土)
13:00~14:00 10代の方を対象
14:00~17:00 全年代の方を対象
場所：フォーラム (戸塚区・男女共同参画センター横浜) JR・市営地下鉄戸塚駅徒歩5分
お問い合わせ：〈事業委託先〉男女共同参画センター横浜 TEL: 045-862-5052

個別専門相談 よこはま LGBT 相談
無料・事前に予約してください
家族や学校・職場でのこと、友達づくりやパートナーに関することまで、専門の相談員が相談をお受けします。

日時(いずれも午後)：2016年2/18(木)、3/14(月)
場所：横浜市青少年相談センター
対象：30代までの方(保護者・教員)
予約・問い合わせ：〈事業委託先〉特定非営利活動法人 SHIP TEL: 045-594-6160 ※水・金・土 16:00~21:00

【横浜市性的少数者支援事業に関する最新情報は横浜市市民局人権課へ】
TEL: 045-671-2718 FAX: 045-681-5453
ホームページ: <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/jinken/seitekisyoususyasien/20151125170907.html>

おーぷん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番
地尾上町ビル 9F / TEL: 045-650-5421
FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaic.gr.jp
平日: 13:00~20:00 / 土・祝: 10:00~17:00
休館: 日 / 火
監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

特集 性感染症について伝えたい！

～医療現場の経験から～

★春の講座情報★

2015 年度 エイズ・性を学ぶ公開講座

クラスに 1 人はいるかもしれない性的マイリティの子どもたち

同性を好きになったり、自分の心の性と体の性が一致しなかったり、性のあり方は多様です。統計により学校のクラスの 1~2 人は、性的マイノリティであることが明らかになっています。^注

性的マイノリティの子どもたちは主に中学生頃から周囲と違うことについて戸惑いを感じ始めることが多いですが、周囲の“性的マイノリティは周りにはいない、会ったことはないという認識”や、“テレビで性的マイノリティのタレントが笑い者になるような発言を聞く”などといった状況を受け、『理解されないのではないか』と誰にも言えず抱え込んでしまう場合があります。性のトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。

性的マイノリティの子どもたちが安心して学校生活を送っていただけるように、大人ができるサポートについてお話しさせていただきます。



講師：特定非営利活動法人 SHIP
日時：2016 年 3 月 26 日(土) 13:00~15:00
会場：横浜 AIDS 市民活動センター(定員 20 人)事前に申込をお願いします。
費用：無料
お申込み方法：
件名に「講座申し込み」、本文にお名前とご連絡先をご記載の上、以下の E-mail か FAX でお送りください。(受付次第、折り返しご連絡いたしますが、1 週間以上も返信がない場合はお手数ですがお電話ください。)

お申し込み先 横浜 AIDS 市民活動センター E-mail: info@yaic.gr.jp FAX: 045-650-5422

講師団体の紹介♪

SHIPは性的マイノリティの支援を行うNPOです。性的マイノリティの人たちが周囲の目を気にせず、同じ仲間と集まることができるコミュニティスペース『SHIPにじいろキャビン』(横浜駅きた西口から徒歩7分)を運営しています!相談活動(関内)も行っています。詳細は団体HPへ。HP: <http://www2.ship-web.com/>



注:平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「子どもの“人生を変える”先生の言葉があります。」より

神奈川県臨床検査技師会

STI予防啓発委員会

神奈川県内で性感染症（STI、性的接触により感染する病気）の予防啓発活動を若い世代向けに行っています。活動内容についてインタビューしました。

特集 性感染症について伝えたい！～医療現場の経験から～

【一般社団法人神奈川県臨床検査技師会】
講演などのお問い合わせ先：
神奈川県臨床検査技師会事務局
横浜市中区山下町 51 番地 1 読売横浜ビル 5F
TEL 045-212-2862 FAX 045-479-8884
STI 予防啓発委員会 HP：
<http://www.jinringi.or.jp/association/work/std/2008/>

はじめに、臨床検査技師というのはどういう職業ですか？

臨床検査技師（以下、検査技師）は病院で医師による病気診断のサポートをします。例えば、インフルエンザウイルスをはじめとした感染症の病原体をさぐる検査、血液検査、がん細胞を見つける検査などを行い、結果を医師に伝えます。“病気をみつけるプロフェッショナル”、“医療現場の軍師”と想像してもらってわかりやすいかもしれません。企業や保健所などで働く人もいます。



神奈川県臨床検査技師会は県内の検査技師が集まる団体で、STI 予防啓発委員会の活動は社会貢献事業のうちの一つです。有志が集まったメンバーが性感染症予防啓発（学校講演、イベントなど）に取り組んでいます。

なぜ性感染症の予防啓発にかかわるようになったのですか？

2003 年頃、性感染症の一つである HIV 感染増加が話題になっていたのですが、性感染症に対する社会の認知度があまりにも低いことに当時のメンバーが危機感を覚えました。

検査にかかわる立場から、「感染を予防してほしい、感染しても早期発見してほしい」という思いがきっかけとなり学校講演をスタートさせました。その後、全国の臨床検査技師会にも活動が波及していきました。



学校講演の様子↑

学校ではどのようなことを話していますか？

中学校・高校・看護学校などに行くことが多いですが、医療現場の専門家として、性感染症の基礎知識を丁寧に伝えたいと思っています。正しい知識を持つことが予防につながるからです。

例えば、HIV が人の免疫を壊す仕組みを、手描きのイラストを使いストーリーにして説明しています。地球（人体）、地球防衛隊（免疫細胞）と司令官（ヘルパーT細胞）、宇宙人（病原体）に例えるのでインパクトがあるようです。「絵が雑、古い！」という生徒の声も一部ありますが！

ポイント！ 免疫とは

私たちの体に病原体が入ってきたときは、血液中のリンパ球であるヘルパーT細胞がB細胞やキラーT細胞に指令を出して病原体と闘います。この働きを免疫といいます。

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）はヘルパーT細胞という司令官を攻撃し、免疫の働きを低下させます。結果、さまざまな感染症やがん（エイズ、後天性免疫不全症候群）を発症しやすくなります。



イラストの一部↑

“正しい知識をもち予防する”ことはとても大切ですね。一方で、“若い世代に性感染症の梅毒が急増している”という現状もあるなか、正しい知識を学ぶことに加えて、私たちができることはありますか？



“感染について不安なことがあれば検査を受けてみる”ということも大切だと思います。

横浜市では HIV 検査・相談（無料、匿名）を横浜 AIDS 市民活動センター（関内、火曜夜間、梅毒検査可）や福祉保健センター（各区、平日昼間）などで受け付けています。インターネットには誤った知識や情報を掲載している所もあるので気をつけましょう!!!

ポイント！ 全国で梅毒患者が急増中

梅毒は梅毒トレポネーマが性的接触によって性器などに感染することで起こる病気です。コンドームの正しい使用で感染するリスクを下げることが可能です。ただし、外陰部・くちびる・口の中に感染することもあり、その場合はコンドームで感染したところをおおえず予防できないこともあるので要注意！

“不安なことやわしく知りたいことがあれば、そのままにしておかない。”
横浜市では電話相談も受け付けています。是非、利用していただきたいと思います!!!

- ◆横浜市がおこなう HIV 検査・相談（無料・匿名）場所一覧
HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/hiv.html> 「横浜市保健所 エイズ」で検索可
- ◆夜間や土曜日に相談したいときは、夜間休日エイズ電話相談（無料・匿名）へ TEL 045-201-8808
受付日時は、水曜日 18時～21時（祝日休み）／土曜日 15時～18時（祝日 15時～17時）
- ◆最新情報や知識を知りたいときは横浜 AIDS 市民活動センターへ HP: <http://www.yaic.gr.jp>

★ 開催しました ★ 世界エイズデー in Yokohama 2015 2015/11/21(土)横浜駅東口・新都市プラザ♪

HIV・エイズについてのポスター展示や冊子配布も行いました！



大学生や高校生ボランティアも集合！明るい笑顔で会場を盛り上げました★来年も募集しますのでご関心のある方はセンターまで(ˆvˆ)



展示コーナー：白衣を着た臨床検査技師が活動やエイズ予防について熱心に説明中！



ワークショップコーナー：レッドリボングッズの手作りは大人気★レッドリボンの意味やエイズの基礎知識もお伝えしました。



横浜を中心に活動する5団体が集まり、ともにエイズの理解と支援を呼びかけました！ご来場の皆様、ありがとうございました！

主催：横浜 AIDS 市民活動センター
参加団体：アジアの女性と子どもネットワーク、AIDS ネットワーク横浜、神奈川県臨床検査技師会 STI 予防啓発委員会、SHIP、横浜 YMCA